

しせいがい

Shiseikai

新年号

vol.96
2021.1



陽光館リハビリテーションにて作成

Contents

- 理事長あいさつ
- 認知症治療病棟を開設しました！／新たな感染対策に向けて
- デイケアセンター陽光館の紹介
- 桜邸のボランティア活動／あおば邸 外部評価を受審しました
- この冬のありんくりん

日本医療機能評価機構認定病院
機能種別版評価項目 3rdG : Ver.2.0



二〇二二年 新しい年によせて

医療法人社団志誠会 理事長 小渡 敬

令和3年の新年を迎えるにあたり、皆様に
謹んでお喜びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世
界中で猛威を振るいパンデミックを引き起
こし、私たちの日常生活に大きな変化をも
たらしました。4月には全国に緊急事態宣
言が発出され一時的には抑えることが出来
ましたが、その後も蔓延は続き東京オリ
ンピック・パラリンピックは延期すること
になりました。また、地域のほとんどの行事
や祭り、スポーツ大会等のイベントは中止
ないし縮小を余儀なくされました。医療界
においても、新型コロナウイルスの対応や

種々の情報に振り回された1年でありまし
た。

さて、平和病院では本年1月より認知症
治療病棟を新たに開設することになりま
した。年々高齢化が進展し、本県において
も認知症の患者が増加しております。特に
BPSDの認知症患者が増えています。特に
BPSDとは不安・抑うつ・焦燥等の気分
的な障害や徘徊、興奮、拒絶等の行動障害
ないし不眠、幻覚妄想等の精神症状を伴う
状態であります。このような患者さんは精
神科での専門的な治療を必要とします。今
後、認知症患者さんの治療にあたっては、
在宅での療養を目指すと同時に、当法人の
陽光館（老健施設）の認知症専門棟と連携
を図り質の高い医療や介護・リハビリテー
ションを行いたいと考えております。

志誠会はこれからも医療や介護・福祉を
通して、地域に貢献できるように努力して
いきたいと思っております。本年も変わら
ぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。
新年が皆様にとりまして、希望に満ちた
明るい年となります事を祈念いたします。



認知症治療病棟を開設しました!

当院では1月より新たに認知症治療病棟を開設しました。

今回の開設にむけて、各部署から招集した精鋭メンバーによる「認知症治療病棟プロジェクトチーム」を中心に、病棟準備からパンフレット・ポスターの作成、院外への広報活動など、志誠会職員みんなで取り組んできました。

特に院外への広報活動において、このコロナ禍ではありましたが、自治会、市役所、居宅・包括事業所、病院、クリニックなど多くの施設を訪問し案内させてもらいまして、皆さまからの認知症治療病棟に対する大きな期待と評価のお言葉をいただきました。広報活動をしているなかで改めて、認知症に関わる悩みや相談は非常に多いものだと思感しましたので、“地域医療に貢献する”という志誠会の理念を基に、この認知症治療病棟が困っている方の助けや支えとなることが出来ればと思っております。

認知症に関することはどんなことでも構いませんので、ぜひお気軽にご相談下さい!



新たな感染対策に向けて

当院では、感染拡大防止の観点から職員が、入口前にて検温チェック及び手指消毒を実施してきましたが、昨年の秋より、サーモグラフィー機器による検温、自動手指消毒機器を導入しました。

また、県内の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、病院・陽光館にて面会制限を行うことになりました。スマホなどで連絡を取り合うことのできる患者様は定期的に家族と連絡をとれますが、患者様やご家族の方がご高齢であり、スマホ・パソコンの操作が苦手という方は、療養期間中の面会ができずにいました。当法人でも、対面による面会が行えない対応として院内のパソコンを利用したリモート面会の準備を進め12月より病院、陽光館でのリモート面会を開始致しました。パソコンの画面を介しての面会ですが、久しぶりの家族との会話に涙する患者様もおられ、療養期間中とても寂しい思いをされたことと思います。

まだまだ感染拡大が続いておりますが、一日でも早く事態が終息し、患者様とご家族が対面で面会できる日を心から待ち望んでいます。



サーモグラフィー機器による検温



リモート面会

陽光館の紹介

その他の活動

デイケアセンター陽光館では、クラフト作業の一環として令和2年12月からコロナに負けないプロジェクトを立ち上げ、手作りのお守りを作成し地域の小学校や学童、児童センターなどに寄贈しています。



お守りの作成風景



完成したお守り



完成したお守りは、デイケアの職員が、令和2年12月16日に「うるま市立田場小学校」へ届け、小学生へと渡されました。



令和2年11月、JAおきなわ組合員及び役職員一同様より、JAおきなわ具志川支店をととして陽光館に黒糖の寄贈がありました。黒糖は陽光館の利用者と職員全員へ配布され皆さん心より喜んでおりました。

黒糖のお礼として令和2年12月1日に、陽光館からデイケアで作成した守りをJAおきなわ具志川支店へ寄贈しました。

デイケアセンター陽光館では、コロナが流行する中、このような形で地域との交流を持てたことを大切に、コロナ禍でも出来る地域交流の取り組みを模索し続けていきたいと思っています。

デイケアセンター

デイケアとは？

デイケアとはリハビリに特化した介護保険サービスで専門職によるリハビリとケアを受ける事が出来る通所施設です。

デイケアを利用したい時は・・・

自宅



家庭で転ぶ事が多くなり
リハビリや介護を受けたいけど、
どこに相談したらいいのか？

相談・案内



担当のケアマネージャー又は**陽光館**へ直接お問い合わせください。
担当者がご説明いたします。

見学・体験

無料



見学や1日体験利用は**無料**で随時
受け付けておりますので、お気軽
にご連絡下さい。

～デイケアセンター陽光館で受けられるサービスと特徴～

食事

個々に合わせた食事を
栄養士が管理提供致します。



昼食(おやつ付き) 一食 **149円**

リハビリ

専門職によるリハビリや低周波電気治療、
ホットパック等を取り入れており、痛みの緩和
を図りながら支援致します。



いサ個
ます！別
ジにもマ
行ッ



電気治療の様子

陽光館は**リハビリ
専門職を11名配置**
しております！

他にも…

入浴介助



相談支援



介護支援



等も行っております。

レクリエーション

レクリエーションは個々の状
況に合わせて色々なレクリ
エーションを提供し介護職
も一緒にサポートしながら
行っております。



書道サークルの様子



クラフト作成の様子

他にも季節にあった行事やレクリエーションを提案し取り組んでおります。

桜邸のボランティア活動 ～上江洲区内のうるま広報誌折り込みチラシ作業に汗～

自立訓練事業所しせいかい【桜邸】では、生活訓練活動の一環で「結い桜の会」と称して毎週水曜日にボランティア活動を行っています。地域との連携を図る事・メンバーさん一人一人が地域に関心を持つ事を目的としています。

これまでは毎月最終水曜日に、上江洲区公民館へ出向き折り込みチラシボランティア活動を行っていましたが、コロナ禍の中、感染防止を踏まえ昨年5月頃より公民館から広報誌を約600～650部受け取り桜邸にて作業を行っています。

テーブルごとに分担作業を行い、集中した中にもおしゃべりや好きな音楽を聴きながら楽しく取り組んでいます。



みんなで楽しみながら折り込み作業をしています



あおば邸 外部評価を受審しました

令和2年11月21日、当法人のあおば邸（認知症対応型共同生活介護事業所グループホーム）が沖縄県の評価機関による外部評価を受審しました。外部評価は職場が具体的な改善に向けた取り組みを、外部者から訪問調査・書面調査に基づいて評価され改善を図る事を目的とし1年に1回調査が行われます。

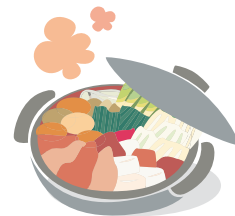
今回の訪問調査で優れている点と評価されたのは、事業所理念の「共に笑い、共に楽しく協力して暮らせる居心地の良い家」を挙げ、食事作りを開設時から継続して3食調理し、近隣の就労事業所からの差し入れを活用、利用者の力を活かしながら食事やおやつ作りをしている。新型コロナウイルスで外出が出来ない中、事業所内での活動を工夫している。利用者個々に事故に繋がりそうな生活場面での事故防止対策表を作成し、職員は注意して支援に取り組んでいるなど、利用者・職員共に楽しく協力して生活している事に高い評価を頂きました。

今後の目標はコロナ禍で外出が出来ない中、邸内でのイベントを増やし、外の空気が触れるテラスで入居者がゆっくり過ごせる空間作りを目標に掲げました。あおば邸の理念を忘れず質の維持・向上に取り組み、地域に信頼されるグループホームになれるようにしていきます。



この冬の

ありんくりん



令和2年度表彰

例年11月～1月にかけて各機関において医療従事者表彰授与式が行われますが、今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、各病院で表彰授与式が行われました。

日本精神科病院協会から勤続30年勤務者として1名、沖縄県精神保健福祉協会から**優良精神保健福祉事業**関係者に**宮城則孝副院長**、勤続25年勤務者1名、沖縄県医師会から勤続20年勤務者2名、中部地区医師会から勤続10年勤務者7名が表彰されました。

皆さまの更なる活躍を期待しています。



令和2年度 院内成人式

1月9日に院内成人式が行われ、今年は1名のスタッフが成人式を迎えました。例年式典は、志誠会スタッフ大勢での参加がありましたが、新型コロナの影響で規模を縮小しての開催となりました。



本人より「20歳で大人になったので、一人前に仕事ができるようにしっかり働いて、勉強の方も一緒にこなしながら頑張っていきたいと思います。」述べられました。

新成人として1歩踏み出したスタッフの今後に期待したいです。

災害派遣精神医療チーム(DPAT)研修会に参加しました

12月16日に県立総合精神保健福祉センター主催で「災害派遣精神医療チーム(DPAT)」の研修が行われ、当院からは医師や看護師を含め4名が参加しました。災害派遣精神医療チーム(DPAT)とは、災害時に被災地に赴き、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチームのことで、当院もその協力機関として登録されています。

今回の研修では、実際の災害事例を踏まえての活動研修となっていましたので、DPATとしての活動がいかに重要かというのを改めて学ぶことが出来ました。災害はいつ起こるかわかりません。何時如何なる時でも迅速な対応が出来るよう、日頃から万全の準備と心構えをしっかりとおきたいと思います。



コロナウイルス感染防止のためオンライン研修

設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
 - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
 - あなた様には知る権利があります
 - あなた様には自己決定する権利があります
 - あなた様には責務があります

基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実を図ると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。



精神科・心療内科 平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

- ☐ 精神科救急入院病棟（スーパー救急）
 ☐ 精神療養病棟
 ☐ 精神科訪問看護
 ☐ 精神科デイケア
 受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00 木・日・祝祭日は休診
 電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地
☐ 相談支援事業所しせいがい（指定特定相談支援事業）



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

- ☐ 介護老人保健施設陽光館入所
 ☐ 短期入所療養施設陽光館
 ☐ デイケアセンター陽光館 電話：974-4000
☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館
 ☐ 居宅介護支援事業所陽光館 電話：974-8000
 受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館
 住所：うるま市字上江洲661番地
☐ 認知症グループホームあおば邸 電話：974-9770 住所：うるま市字上江洲708-1
☐ うるま市地域包括支援センター具志川ひがし 電話：974-4001 住所：うるま市宮里265-4



医療法人社団志誠会

障がい福祉サービス事業所

- ☐ グループホームしせいがい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所） 電話：974-6000
☐ 自立訓練事業所しせいがい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所） 電話：974-6100
☐ 就労訓練工場しせいがい（就労継続支援B型） 電話：973-0030

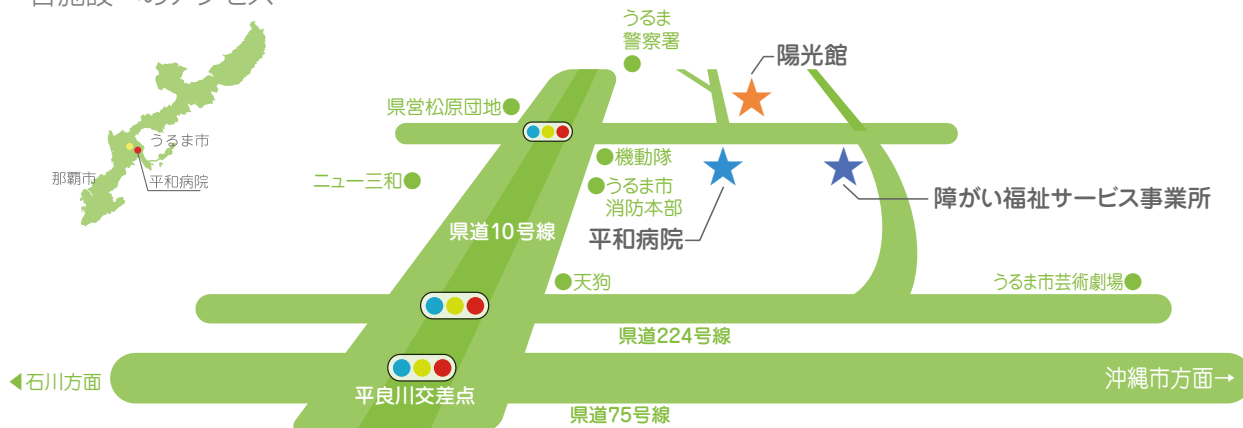
職員募集!!

志誠会では「看護補助者・介護職・介護助手・ヘルパー非常勤・調理員・清掃員・送迎員・売店スタッフ」等の職員を募集しています。

その他職種も募集していますので、関心のある方はホームページをご覧ください。

098-973-9590（平和病院 総務課）

各施設へのアクセス



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス一色の年でした。私たちの仕事の仕方も大きく変わりました。中でも一番大変なのは作業療法で用いた物品の消毒作業です。手の触れた場所・物品に対して消毒液で拭き上げますが、時には鉛筆一本一本まで消毒することもあります。「早くもとの生活に戻ってこないかな」心から願っています。

さて今回の広報誌では感染対策の一つとしてはじまったりリモート面会の紹介や桜邸による、うるま広報誌折り込みチラシ作業など掲載しています。ぜひご一読いただければと思います。

広報誌委員会では、今年も各施設のニュースやトピックスをいろんな視点からお届けしたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。（作業療法課 山本 大輔）

